

Japan Boating & Water Safety Summit 2019 プログラム

於：東京海洋大学・越中島キャンパス

2019.06.03現在

<6月7日(金)>

会場：越中島会館・講堂

| | |
|-------------|---|
| 10:00~10:30 | 開会式 |
| 10:30~10:45 | 斎藤秀俊：水難学会会長 特別講演 「JBWSSの意義」 |
| 10:45~11:20 | USCG：スコット・ジョンソン NASBLA：マーク・ブラウン、ジョン・ジョンソン、パメラ・ディロン NSBC：ペグ・フィリップス、イボンヌ・ペンツ 来賓挨拶及び活動紹介 |
| 11:20~11:30 | 休憩 |
| 11:30~12:30 | 竹本孝弘：東京海洋大学教授 ^{※1} 基調講演 「海上の事故防止対策とヒューマンファクター」 |
| 12:30~12:45 | 久保善正：東京都生活文化局消費生活部 「子供用ライフジャケットの安全な使用に関する調査」 |
| 12:45~13:00 | 柿沼清英：(一社)日本釣用品工業会・安全委員会 「官民一体で推進する「信頼あるライフジャケット」の普及啓発への取組み」 |
| 13:00~14:00 | 昼休憩 |
| 14:00~14:25 | 菊地俊方：運輸安全委員会 「水上オートバイ事故の防止について」 |
| 14:25~14:50 | 乾 高章：総務省消防庁 「動力ボートの効果的活用による救助技術の高度化に関する検討会結果報告について」 |
| 14:50~15:00 | 休憩 |
| 15:00~15:20 | ロビン・ジェンキンス：アトランティック・パシフィック・ジャパン 「今夏のAPJ海のサマースクールについて」 |
| 15:20~15:40 | 今西淳樹：(一社)ウォーターリスクマネージメント協会 「各水上スポーツ競技会における水上警備安全管理の現状報告」 |
| 15:40~16:00 | 齋藤弘樹：(一社)北海道ウォーターセーフティ協会 「水難救助現場における公的機関と民間団体との関わり」 |
| 16:00~16:20 | 音野太志：(一社)Japan Water Patrol 「水上バイクを使用したレスキューにおいて今後求められるもの」 |
| 16:20~16:30 | 休憩 |
| 16:30~17:50 | パネルディスカッション「国内における水難予防対策の現状と課題」 進行：田村祐司(東京海洋大学・水難学会) |
| 18:00~20:00 | 懇親会 <マリンカフェ> |
| 20:00 | 1日目終了 |

<6月8日(土)>

会場：第4実験棟5階大教室

| | |
|-------------|--|
| 08:50~09:00 | 2日目開会 |
| 09:00~09:25 | 竹村健太郎：(一社)日本小型水難救助艇協会 「ボートレスキューイノベーション」 |
| 09:25~09:50 | クリストファー・ステック：ACA(American Canoe Association) 「パドルスポーツ/USA」 |
| 09:50~10:00 | 休憩 |
| 10:00~10:25 | 海上保安庁 交通部 安全対策課 「ウォーターセーフティガイドの充実強化」 |

| | |
|-------------|--|
| 10:25~10:50 | 工藤剛：味の素(株) 「食とアミノ酸によるカラダのコンディショニング」 |
| 10:50~11:00 | 休憩 |
| 11:00~11:25 | 倉田大輔：池袋さくらクリニック 「飲酒後遊泳(酔泳)事故の現状と対策」 |
| 11:25~11:50 | インフカム 「マリンコンパス機能の紹介」 |
| 11:50~13:15 | 昼休憩 |

会場：越中島会館・講堂

<水難学会学術講演会>

| | |
|-------------|--|
| 13:15~14:15 | 埜田真二：運輸安全委員会※ ² 特別講演 「運輸安全委員会の船舶事故等調査」 |
| 14:15~14:30 | 休憩 |
| 14:30~15:30 | 一般講演 A ① 鈴木直子、本宮圭太郎、久貝裕志 「指導員(プール)養成講習会実技指導要領 完成報告」 ② 安倍志摩子 「泳法教育から水中安全教育へ 一教員との関わりを考える」 ③ 佐竹洋二、豊田 修、京野俊二、天野 尽、近藤貴徳、池田光芳、羽州貴広、渡邊優介、佐藤孝彰、長井草樹 「水の事故を目撃した際にあなたがとる行動順位 —市民アンケートの結果から考える・水辺のチェーンオブサバイバルとは—」 ④ 犬飼直之：長岡技術科学大学大学院 「半島陰影部に位置する福岡県古賀海岸での波浪特性の把握」 |
| 15:30~15:45 | 休憩 |
| 15:45~17:00 | 一般講演 B ① 奥村公一 「木曾川で発生した水難事故におけるその後の対応」 ② 井上 泰 「水難事故現場における再発予防策の検討」 ③ 永原順子：大阪大学大学院 「東南アジア諸国における水の伝承の比較検討」 ④ Chanchai Supawerakul・Banyat Fuklor：Buddha Dhamma Hook31 Foundation 「The summary of drowning prevention by Hook 31 Water Rescue team at Nakorn Ratchasima, Thailand」 |
| 17:00~17:30 | 閉会式 共同声明 |
| 17:30 | 終了 |

企業展示 出展者

| |
|---|
| (ライフジャケット)小型船舶関連事業協議会 日本釣用品工業会、 (水難救助用ドライスーツ等)日本海洋、モビーディック、日本アクアラング (フローティングデバイス)ABC、(カヌー)日本セーフティカヌーイング協会、(PLB)舵社 |
|---|

令和元年6月7日

国土交通省 海事局、海上保安庁 JBWSS 連携協議会

※1 竹本 孝弘(たけもと たかひろ)

東京商船大学卒。
運輸省航海訓練所教授、船長を経て、2009
年から東京海洋大学
海洋工学部海事シス
テム工学科教授。日本
航海学会理事



※2 埜田 真二(たおだ しんじ)

広島大学卒。
国土交通省
運輸安全委員会
船舶事故調査官

